

江別市の予算

【詳細】 財政課 ☎ 381-1010



基本方針

令和4年度は、第6次総合計画の9年次目となることから、各政策の進捗状況や目標の達成状況を検証した上で、基本理念に掲げる4つの柱（安心して暮らせるまち」「活力のあるまち」「子育て応援のまち」「環境にやさしいまち」と「協働のまちづくり」の考え方に基づき、予算を編成しました。

特に、「子育て支援」、「教育の充実」に重点を置き、引き続き、人口減少対策を基本とし、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政などをはじめ、多様な主体が連携・協力して、政策を推進します。

また、新型コロナウイルス対策は、令和3年度補正予算から令和4年度予算にかけて一体的に切れ目なく進めます。

予算規模は増加

一般会計の予算は、前年度から9億3千万円（2.0%）増加しています。また、特別会計と企業会計を含めた全会計の合計は、922億4,572万3千円となり、前年度と比べて26億6,915万5千円（3.0%）増加しました。

増加の理由は、ワクチン接種経費を除く新型コロナウイルス対策経費を当初予算に計上（前年度は補正予算に前倒し計上）したことに加え、高齢化などによる社会保障費の増加や人件費・燃料費などの単価上昇に伴う各種委託料の増加に

歳入

【 】内は前年度比

※ 1万円未満の金額を整理して記載しています

国・道支出金（29.2%）
140億4,965万円
【+3億6,394万円】
特定の事業に対する国・道からの負担金・補助金など

市税（26.4%）
127億800万円
【+4億9,400万円】
個人市民税、固定資産税、軽自動車税など

使用料・手数料など（2.3%）
10億8,240万円
【+4,669万円】
市民会館などの使用料、ごみ処理手数料 など

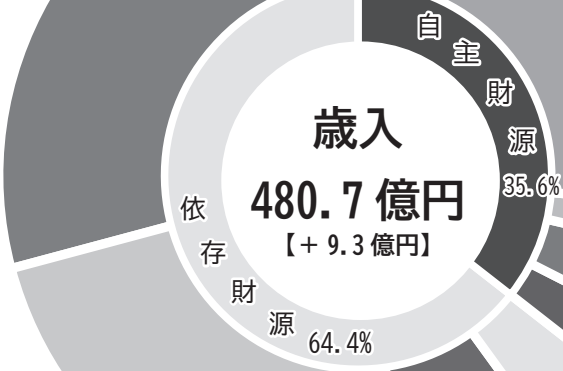
諸収入（3.7%）
17億6,798万円
【+6,266万円】

その他（3.2%）
15億4,997万円
【+3億8,171万円】

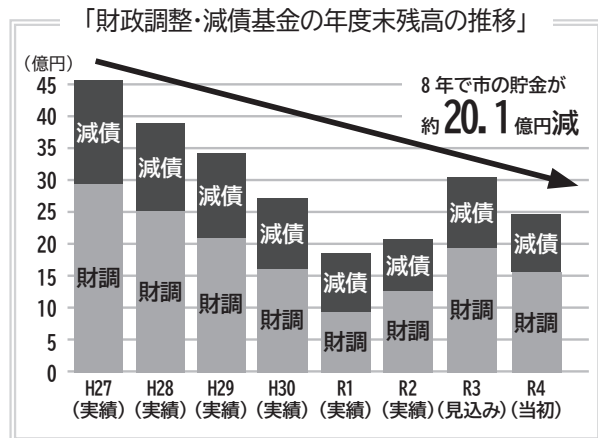
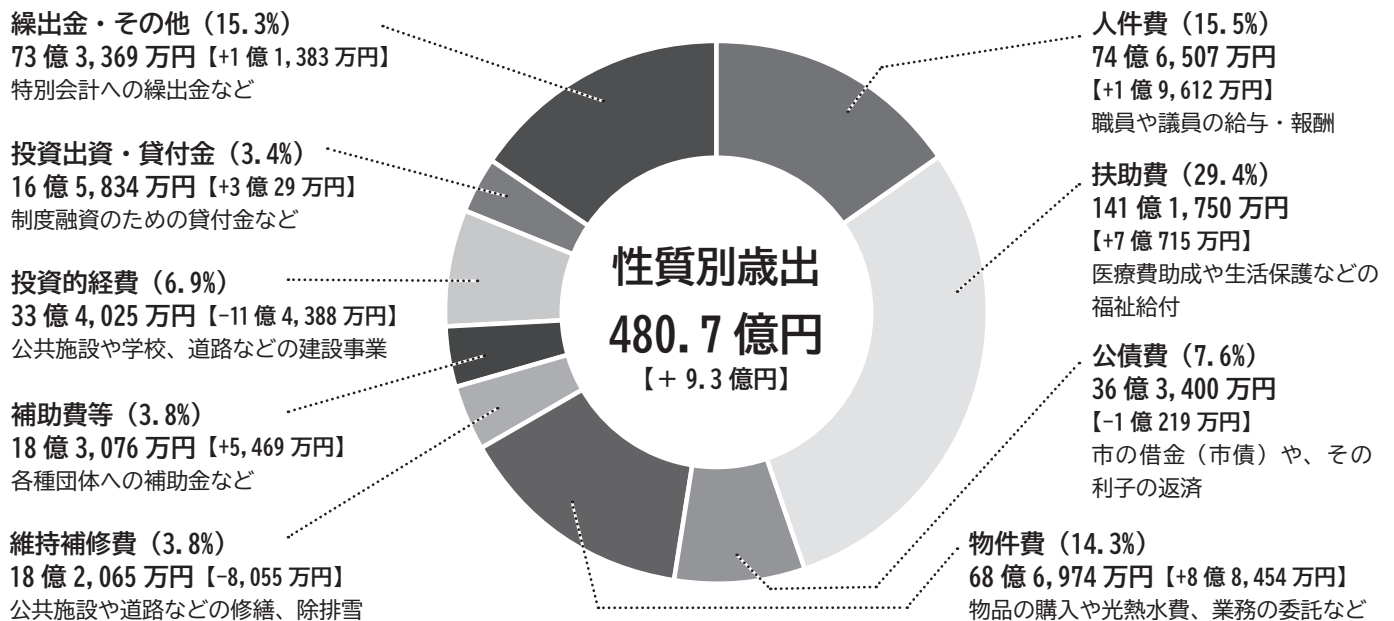
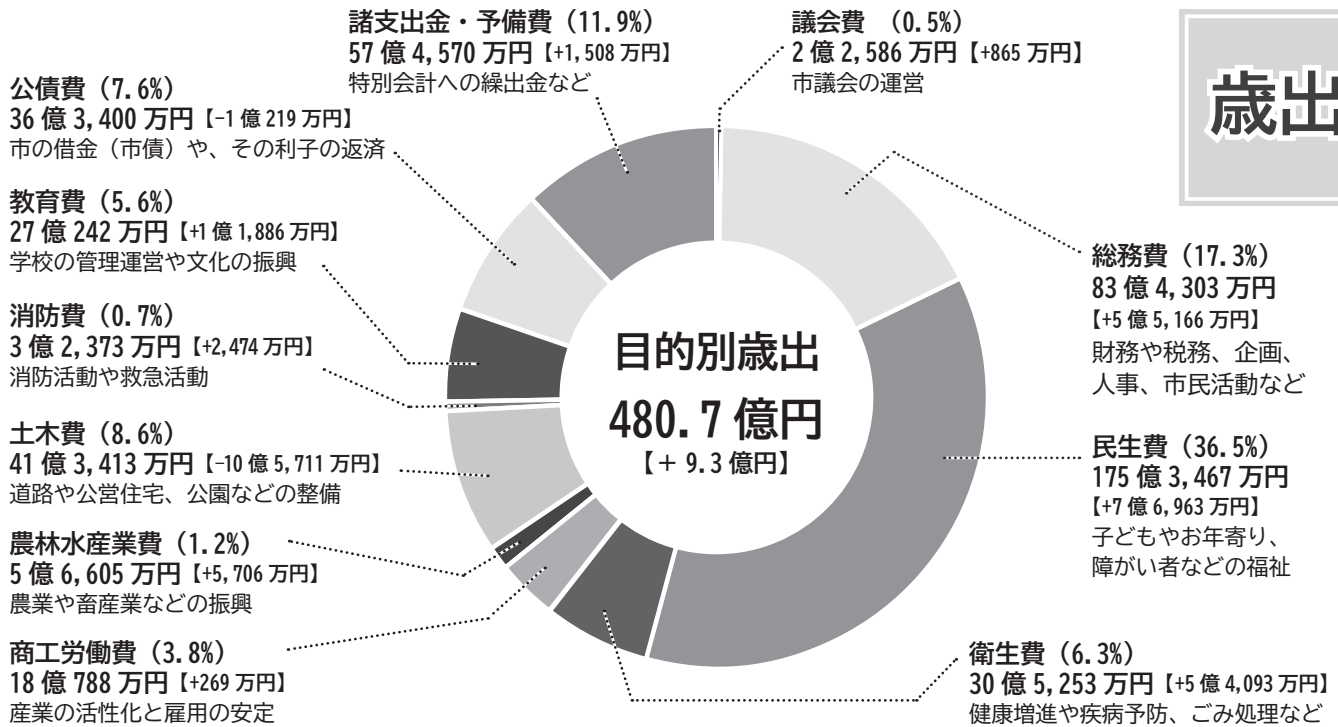
地方交付税（23.1%）
111億円
【+11億4,000万円】
一定水準の行政サービスを行うために国から配分される交付金

地方消費税など（7.8%）
37億3,330万円【+1億6,200万円】
国が徴収した特定の税のうち、一定の基準で地方に配分されるものなど

市債（4.3%）
20億7,870万円【-17億2,100万円】
施設や道路建設などのための借入金



歳出



よるものです。

また、歳入は所得減を見込んでいた個人・法人市民税が堅調であったことなどから、市税の増加が見込まれ、国による臨時財政対策債の大幅な減があったものの、一般財源の総額は微増となる見込みです。

基金は減少の見込み

基金は、大型事業の実施、災害や不測の事態への備えなど、目的をもって積み立て、活用しています。

基金残高は、交付税が前倒し交付された影響などにより、令和3年度は増加が見込まれますが、8年間で見ると減少傾向が続いています(左図)。

今後とも、さらなるコストの縮減や自主財源の確保など健全な財政の維持に努めます。

令和4年度 主な事業



安心して暮らせるまち

子どもから高齢者まで、あらゆる人が健康的に安心して暮らせるように、福祉・保健・医療サービスを充実するとともに、地域防災力の向上を図り、生活する上での様々な不安を解消して安全・安心を確保することをめざします。



生涯活躍のまち整備事業（地域交流事業えほんのぼくりっこ）

事業名	金額	主な内容
新規 都市計画マスタープラン等策定事業	1,388万円	都市計画マスタープランと立地適正化計画の策定
消防庁舎・出張所改修事業	6,865万円	消防本部庁舎高圧受変電設備の更新、大麻出張所に消毒室設置
生活バス路線等運行補助事業	4,533万円	新規 国庫補助が削減された路線に対する沿線自治体協調補助
市民後見推進事業	1,289万円	新規 成年後見支援センターの体制強化に伴うコーディネーター設置
生涯活躍のまち整備事業	903万円	障がい者の就労環境の充実に向けた取り組み



活力のあるまち

人がいきいきと暮らす活力あふれるまちとなるように、市民の暮らしを支える農業や商工業などの市の産業を活性化するとともに、生きがいや心の豊かさを育む文化やスポーツ活動などを充実し、まちにぎわいや活力を生み出していくことをめざします。



旧町村農場保存活用推進事業

事業名	金額	主な内容
新規 旧町村農場保存活用推進事業	1,326万円	市民ワークショップ開催、令和5年度の改修工事に向けた設計
新規 情報発信強化事業	279万円	LINEの江別市公式アカウントの本格導入
ふるさと納税普及促進事業	1億9,298万円	新規ポータルサイトの追加、市内大学や高等学校への支援に活用
旧岡田倉庫活用事業	4,534万円	移設工事実施設計、かわまち協議会の開催
えべつ観光協会支援事業	2,308万円	法人化した「えべつ観光協会」を中心とした観光推進の支援

令和4年度予算に計上した事業の一部を、「4つのまちづくりの基本理念」に沿って紹介します。詳細は、「絵で見る江別市予算案」（下記QRコード）をご覧ください。





親子安心育成支援事業（子育てひろば『ぽこあぼこ』）



GIGA スクール構想推進事業

市の未来を担う子どもたちが健やかに成長できるように、子育て支援や教育内容などの充実を図ることで、子どもを生み育てる魅力あふれるまちをめざします。



子育て応援のまち

事業名	金額	主な内容
新規 道産木材を活用した魅力的な遊び場創設事業	3,930 万円	都市と農村の交流センター（えみくる）に大型木製遊具を設置、幅広い世代の利用を促す
新規 小中一貫教育推進事業	272 万円	令和5年度からの本格導入予定の小中一貫教育の推進
新規 江別の魅力「食」と「自然」を満喫できる体験型学習事業	46 万円	都市と農村の交流センター（えみくる）を会場とした体験型学習、地場産品を活用した食育、自然体験学習・異年齢交流
民間社会福祉施設整備費補助事業	4 億 2,031 万円	新規 保育支援システム導入の補助、教育・保育施設の整備補助
GIGA スクール構想推進事業	2 億 207 万円	小中学校のタブレットやモバイルルーターの整備
放課後児童クラブ運営費補助金	1 億 5,103 万円	運営費の補助、新設民間放課後児童クラブへの施設整備などの補助
親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）	2,987 万円	子育てひろば『ぽこあぼこ』の運営、託児ルームの拡充（0歳の一時預かり開始）、子育て支援コーディネーターによる子育て相談

特別会計の予算

256 億 500 万円（前年度比 3 億 1,100 万円増）

- ・国民健康保険特別会計 123 億 3,200 万円
- ・後期高齢者医療特別会計 19 億 8,700 万円
- ・介護保険特別会計 111 億 8,400 万円
- ・基本財産基金運用特別会計 1 億 200 万円

予算には、一般会計のほかに、特別会計と企業会計があります。それぞれ公共料金や利用料などの独自収入があり、一般会計と切り離すことで、事業の収支が明確にわかるようにしています。

企業会計の詳細は6ページをご覧ください。



環境教育等推進事業（水辺の自然塾）

市の豊かな自然を次代に引き継いでいけるように、再生可能エネルギーやごみの資源化を推進し、野幌森林公園や石狩川などの自然環境と触れ合うことにより、人と自然が共生するまちをめざします。



環境にやさしいまち

事業名	金額	主な内容
新規 再生可能エネルギー導入調査等実施事業	1,225 万円	太陽光発電設備設置候補施設の調査
新規 緑の基本計画策定事業	704 万円	次期計画策定を行うための現況調査
新規 環境管理計画等策定事業	400 万円	地球温暖化対策実行計画の策定
環境クリーンセンター基幹的設備改良事業	1 億 9,532 万円	焼却施設と不燃粗大施設の改修
環境教育等推進事業	362 万円	えべつ環境広場の開催

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対策補正予算

ワクチン接種事業 7 億 6,130 万円

全市民を対象とした新型コロナワクチン接種に必要な経費を計上

※国の16か月予算に沿って令和4年度に繰り越して執行



市立病院

☎ 382-5151
詳細 管理課財務係



市立病院 HP

予算と前年度(決算見込み)の比較増減

区分		R4 年度	比較増減
入院	収益	34.3 億円	3.2 億円
	患者数	73,000 人	6,646 人
	1日平均患者数	200 人	18 人
外来	収益	18.2 億円	2.2 億円
	患者数	138,966 人	8,538 人
	1日平均患者数	572 人	33 人
当年度純損益		1.7 億円	1.6 億円
一般会計繰入金		14.7 億円	-0.4 億円
一般会計長期借入金残高		22.8 億円	0.0 億円
累積欠損金		117.4 億円	-1.7 億円

令和2年度からの3年間で集中改革期間とし、経営再建に取り組んでいます。2年目となる令和3年度は、重点医療機関として新型コロナウイルス感染症患者の診療対応や、発熱外来を運用するとともに、感染症対策を行いながら通常診療の継続に努めました。

令和4年度の診療報酬改定において、入院前後や高度医療機器を活用する外来、紹介患者を中心とする外来のいずれかの機能を有する「紹介受診重点医療機関」が導入されます。今後はこれまで以上に入院・救急患者を積極的に受け入れ、地域の医療機関と連携しながら外来機能を重点化し、地域医療における中核病院としての役割を果たすため取り組めます。

また、令和5年度の収支均衡に向け策定した「江別市立病院経営再建計画」に基づき、4月から地方公営企業法全部適用に移行します。ガバナンスを強化し、職員一丸となつて医療の質と経営の質の両立を目指して、下記の事項に取り組みます。

主な取り組み事項

▼ 感染症対策

- ・ コロナ感染症患者の診療対応
- ・ 発熱外来の運用を継続
- ・ 市民向け新型コロナウイルスワクチン接種

▼ 他の医療機関との連携強化

- ・ 紹介患者の受け入れと逆紹介の推進
- ・ 高度医療機器の利用や専門外来の PR

▼ 「働き方改革」の推進

- ・ 病棟看護師の2交代制を全面实施し、業務手順の見直しや ICT 活用による効率的な体制整備を図る
- ・ 電子カルテシステムを更新し、業務を効率化
- ・ 離床センサー付き電動ベッドの更新整備を進め、安全性の向上と看護業務の効率化を図る

▼ 広報活動の充実

- ・ ホームページを魅力ある内容に刷新し、医療機能紹介や集患と職員採用への応募者増加に努める

▼ 急性期医療の充実、収益性の高いマネジメントの実施

- ・ 薬剤管理指導料の算定率向上の継続、外来化学療法連携連携加算取得
- ・ 多職種連携による、入院患者への早期リハビリテーション介入の推進
- ・ 入院時ベッドサイド栄養指導の拡大
- ・ 緩和ケアチームを立ち上げ、緩和ケア診療加算の取得を目指す
- ・ 教育入院など、糖尿病重症化予防・治療の積極的な展開
- ・ 口腔機能管理の施設基準取得を目指し、検討チーム立ち上げ

▼ 外来機能の高度化と専門化

- ・ 認知症疾患医療センターを新たに設置し、もの忘れ外来の診療体制を強化
- ・ 訪問看護のターミナルケア対応などを充実させ、在宅医療提供体制を強化
- ・ 神経伝導検査装置を更新し、糖尿病神経障害などの検査を充実させる
- ・ 総合呼吸抵抗測定装置を整備し、小児や高齢者の肺機能検査を充実させる
- ・ 健診センターの利用推進を図り、外来受診勧奨につなげる取り組みを強化

▼ ガバナンス強化と人材育成

- ・ 地方公営企業法全部適用に移行し、経営目標の共有化と意思決定、進捗管理を明確化
- ・ 診療報酬の精算部門の直営化を進め、組織力を強化
- ・ 認定資格の取得など、医療の質の向上に向けた人材育成を計画的に進める

下水道事業会計

54 億 5,549 万円 (前年度比 5,691 万円減)

主な事業

- ・ 管路整備事業 7,797 万円
- ・ 管路施設改築更新事業 2 億 6,662 万円
- ・ 処理場・ポンプ場施設改築更新事業 6 億 8,830 万円

水道事業会計

39 億 2,804 万円 (前年度比 3,034 万円増)

主な事業

- ・ 基幹管路耐震化事業 3 億 471 万円
- ・ 配水管整備事業 2 億 6,677 万円
- ・ 配水施設整備事業 1 億 2,222 万円
- ・ 浄水施設整備事業 1 億 5,515 万円

☎ 385-1214

詳細 水道部総務課財務係

令和4年度の上下水道事業は、上下水道ビジョンに基づき、基幹管路の耐震化や処理場・ポンプ場の設備更新などを行います。

上下水道